

## 岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 事業計画書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

実施主体	団体名	NPO 法人岡山ニャンとかし隊
	担当者氏名	廣畑佐知子
	連絡先	住所 〒700-0866 岡山市北区岡南町 1-3-20 電話 090-4578-7671 Eメール okayama@nyantokashitai.org
	合同提案団体 (あれば)	団体名 公益財団法人トヨタ財団 東京都新宿区 2 丁目 1 番 1 号 新宿三井ビル 37 階 (03-3344-1701)
岡山市の協働 課等	課名等 担当者氏名 (連絡先)	課名等 岡山市保健福祉局 保健所衛生課 担当者 課長 安原広己 (086-803-1257)
調査事業	名称	地域猫活動に関するニーズ調査
	調査の動機 または仮説 (なぜ)	<p>地域猫活動は、一方的に行えば地域トラブルになりかねない。例えば、飼い猫が地域猫活動に巻き込まれ、飼い主が望まない不妊・去勢手術を行ってしまう恐れがある。また、猫が嫌いな人にとって十分な説明がなければ、猫を増やしていると勘違いし、活動者とのトラブルの原因になりかねない。そこで、活動を行う際には、地域に対し説明会やポスティングを行い十分な周知理解を得る必要がある。その際に、アンケート調査を通じて事前にある程度の知識を啓発できれば理解が進む。また、地域の猫に関する解決方法に悩んでいる地域にアプローチすることで、地域猫活動への参加障壁を低くし、所有者のいない猫を減らすことで、猫にとっても人にとっても暮らしやすい地域づくりが可能となる。</p> <p>地域猫活動の「地域」としては、動物病院、ペットショップ、大学などを窓口としたコミュニティも想定されるが、現状自治体として機能している町内会を相談窓口から除くことは難しい。逆に町内会が地域猫活動を事前に理解し、自町内会で行われることを想定していれば、新しい地域コミュニティも活動に取り掛かりやすくなる。そのため、今回は窓口のひとつである町内会に地域猫活動についてアンケートを通じて周知をはかる。</p> <p>「地域猫活動」に踏み込めない理由としては</p> <p>①「地域猫活動」を知らない、あるいはどんな活動がわからない</p>

調査事業		<p>②地域住民のつながりが希薄化し、町内会への相談がためられる</p> <p>③地域猫活動への参加の仕方がわからない</p> <p>④猫が嫌いな人がこの活動を支持できるかが不明</p> <p>⑤資金不足・助成金の申請方法がわからない</p> <p>⑥猫が捕まえられない・手術してくれる病院がわからない</p> <p>という意見が定例会や猫サロンなどで出されている。一年目は地域猫活動の相談窓口となることが期待される岡山市の各町内会や活動のサポートが期待される獣医師会へ地域猫活動に対しどんな疑問点や導入に際する問題点があるのかアンケートを行い、現状把握と上記の意見の裏づけ調査を行う。また、アンケートの実施を通じて町内会等へ地域猫活動を広く周知し、若い担い手が地域猫活動を推進可能な地域合意へとつなげていく。</p>
	<p>調査の対象 (なにを)</p> <p>調査の数量 (どれだけ)</p>	<p>岡山市単位町内会(1,724 町内会)</p> <p>岡山市開業獣医師(岡山市内 50 名前後)</p> <p>地域猫活動に関わると思われる様々な立場の十名程度</p>
	<p>調査の方法 (どのように)</p>	<p>《調査内容①》</p> <p>シート 1：地域猫活動の認知と言葉や活動内容に対する理解を促し、ニーズを探る項目</p> <p>学区・地域特性・ノラ猫の状況・対策への有無・期待</p> <p>シート 2：地域猫の状況、実施意欲、実施における課題</p> <p>地域猫活動の実施必要項目（トイレ設置・猫の捕獲・耳カット等）</p> <p>岡山市での活動助成制度の認知度・情報入手先など</p> <p>シート 3：地域猫活動ができない理由は何かを探る項目</p> <p>一番大きな理由→許容範囲を探る</p> <p>《調査対象①》</p> <p>岡山市単位町内会(1,724 町内会)</p> <p>《調査内容②》</p> <p>ノラ猫の不妊・去勢手術の受け入れ可否及び条件</p> <p>手術済み耳カットができるかどうか</p> <p>《調査対象②》</p> <p>岡山市開業獣医師 50 軒前後</p> <p>《調査内容③》</p> <p>数人に地域猫活動について議論や質問を行い、グループ対話形式によって何が求められているのかの意見収集を行う。</p> <p>《調査対象③》</p> <p>地域猫活動に関わると思われる様々な立場の十名程度</p>

	調査の工程 (いつ・だれが)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>工程</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>ニーズ調査内容の打合せ 4/24 グループ対話実施</td> <td>・畑・谷岡・内田</td> </tr> <tr> <td>5,6月</td> <td>5/中旬まで調査票作成 6/下旬 調査票発送(獣医師会)</td> <td>廣畑・谷岡・内田 岡山市保健所動物衛生課</td> </tr> <tr> <td>7,8月</td> <td>7/2 調査票印刷・封入作業 7/3 調査票発送(各町内会) 7/13～7/14 先進市視察実施 7/21 調査票回収締切り 8/7 調査票入力終了 8/10 調査票分析打合せ 8/28 調査報告書打合せ</td> <td>・畑・畑・萩原・河内他5名</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>9/上旬 調査報告書作成・印刷 9/27 報告会実施時に先進地視察報告 (岡山市勤労者福祉センター4階大会議室)</td> <td>・畑・畑・萩原</td> </tr> </tbody> </table>	月	工程	担当	4月	ニーズ調査内容の打合せ 4/24 グループ対話実施	・畑・谷岡・内田	5,6月	5/中旬まで調査票作成 6/下旬 調査票発送(獣医師会)	廣畑・谷岡・内田 岡山市保健所動物衛生課	7,8月	7/2 調査票印刷・封入作業 7/3 調査票発送(各町内会) 7/13～7/14 先進市視察実施 7/21 調査票回収締切り 8/7 調査票入力終了 8/10 調査票分析打合せ 8/28 調査報告書打合せ	・畑・畑・萩原・河内他5名	9月	9/上旬 調査報告書作成・印刷 9/27 報告会実施時に先進地視察報告 (岡山市勤労者福祉センター4階大会議室)	・畑・畑・萩原
月	工程	担当															
4月	ニーズ調査内容の打合せ 4/24 グループ対話実施	・畑・谷岡・内田															
5,6月	5/中旬まで調査票作成 6/下旬 調査票発送(獣医師会)	廣畑・谷岡・内田 岡山市保健所動物衛生課															
7,8月	7/2 調査票印刷・封入作業 7/3 調査票発送(各町内会) 7/13～7/14 先進市視察実施 7/21 調査票回収締切り 8/7 調査票入力終了 8/10 調査票分析打合せ 8/28 調査報告書打合せ	・畑・畑・萩原・河内他5名															
9月	9/上旬 調査報告書作成・印刷 9/27 報告会実施時に先進地視察報告 (岡山市勤労者福祉センター4階大会議室)	・畑・畑・萩原															
	結果の活用方法 (どうする)	<p>《調査内容活用》 調査結果に基づいて、岡山市保健所とともに次年度以降の地域猫活動支援事業助成金の今後の展開や実施体制について協議を行い、制度の拡充と活用促進につなげます。さらに、地域猫活動参加へのハードルを下げ、参加団体を拡充するための提案に向けて、地域・行政・企業・活動者間の連携方法や支援体制を模索する。</p> <p>《一般公開》 調査結果の報告書を2500部作成し、各町内会・動物生命科学に取り組む大学、開業獣医師・地域猫活動指定団体・岡山市関係各所・岡山市福祉協議会・岡山県警等に広く配布する。 ホームページでアンケート結果のダイジェスト版を公開する。</p> <p>《報告会・専門家の協力依頼》 調査結果で特に問題が発生していると思われる小学校学区レベルで町内会長を対象に報告会を行い、報告書を配布し、先進地視察に同行した自治会長の感想を紹介する。 同時に、2年目から必要と思われる地域の獣医や専門家へ出席を依頼する。</p>															
調査後の展望 (モデル事業への提案を想定している場合は事業の内容など)		<p>① 2年目ではアンケート調査に基づいて、以下の(1)～(4)の取り組みを展開する。</p> <p>(1)行政と町内会を中心とした情報共有の新しいしくみづくりを目指す。特に地域から寄せられる猫の情報(苦情含む)を迅速に地域猫活動につなげる機会・ツールを検討する</p> <p>(2)地域猫活動の参加団体の拡充を目的として、岡山市全域におけるノラ猫の手術が可能な病院の一覧作成や猫の捕まえ方を掲載したマニュアルを作成する。</p>															

	<p>(3)地域猫活動支援者キャンペーンイベントとして、アンケート結果の報告を行い、活動および支援への参加意欲を高める</p> <p>(4)地域猫活動の主体となる個人や団体に対して一律研修や個別相談の機会を設ける</p> <p>②3年目では地域猫活動を広めるために以下の(1)～(4)の取り組みを展開し、制度・資金面での地域猫活動支援体制をより強化する。</p> <p>(1)行政へ協議を打診し、現行制度の問題を検証、改善案を提案する。</p> <p>(2)民間での事業資金助成制度(冠基金等)の構築に向けて地域猫活動の主体を中心とした協議体を結成するとともに基金開設キャンペーンを実施する。</p> <p>(3)猫に関する苦情を地域猫活動へつなげる仕組み発足。</p> <p>(4)大学との連携により学生の地域活動参加(ボランティア参加)のモデルケースをつくる。</p> <p>③4年目以降では地域猫活動支援体制を整えるため以下の(1)～(3)の取り組みを現実化させる。</p> <p>(1)民間での事業資金助成制度(冠基金等)を運営し、地域猫活動を推進する事務局を設置する。事業資金としては、事業資金助成制度(冠基金等)の運営費や、地域猫活動の伴走が必要な地域から謝金を受け取り、人件費や経費を捻出し、自立を目指す。</p> <p>(2)3年目につくった大学との連携モデルケースによりボランティア参加を推進し、身軽な運営体制の維持を図る。</p> <p>(3)要請があれば行政からの委託を受け入れる。</p>
<p>岡山市及びESD・市民協働推進センターに支援してほしいこと(あれば)</p>	<p>①アンケート実施の広報・用紙配布の協力</p> <p>②岡山市各課の連携依頼</p> <p>③数人に地域猫活動について議論や質問を行い、グループ対話形式によって何が求められているのかの意見収集を行う際の司会</p> <p>① その他全般的な助言・アドバイス</p>

## 岡山市市民協働推進ニーズ調査事業 収支予算書

単位(円)

提案事業名	地域猫活動ニーズ調査
-------	------------

## (収入)

		費目等	金額
自己資金等	実施主体		円
	合同提案団体	助成金	730,000 円
	合計(a)		円
事業収入	事業収入		円
	合計(b)		円
岡山市補助金申請額(c)			200,000 円
収入合計(d) = (a)+(b)+(c)			930,000 円

(支出)

	費目	金額	内訳
経費	人件費	120,000 円	廣畑佐知子 1,000 円/h × 120H
		100,000 円	調査票入力業務 1,000 円/h × 10H × 10 名
	郵送費	390,000 円	アンケート用紙配布・回収費 (1,724 町内会+60 開業獣医師) × (120 円+97 円)
		180,000 円	報告書・報告会案内送付 (1,724 町内会+60 開業獣医師、関係各所) × 82 円
	印刷製本費	20,000 円	調査票・依頼文印刷 タックシール購入
		10,000 円	報告会案内状・返信葉書印刷
		80,000 円	報告書作成 1 万円 × 8 ページ (広和印刷株式会社) 報告書印刷
	30,000 円	2500 部 (プリントバック)	
総事業費		930,000 円	※収入合計(d)と同額

※人件費等を積算する場合は、根拠(賃金規定や過去の支払い状況を示すもの)を添付してください。

※報告書の販売等による事業収入を見込んでいる場合は「事業収入」欄に単価、部数、収入額(いずれも見込)を記入してください。